

通所介護たより



利用者の皆さんに招待状を作成していただき、ご近所には一緒に持っていきお誘いしました。
 当日の芋煮会の中心

秋の味覚満載
 秋言えばなんとと言っても「食欲」です。
 新聞の広告チラシにも店頭にも、風に乗って漂ってくる秋刀魚の匂いに食欲を刺激され、お腹がグーッと鳴ります。ほっとあいのお昼ご飯のメニューにも、秋ならではの旬の食材がふんだんに登場しています。



先日ほっとあいでは、利用者みなさんに協力していただいて「芋煮会」を開催しました。常日ごろご協力をいただいているご近所の方々（災害時の協力や農作物の提供等々）や、ボランティアの方々にもご参加いただきました。



は、利用者みなさんでした。素晴らしい包丁さばきで「みそ味」「しょうゆ味」の2種類が、あっという間に出来上がりました。歌や思いがけないフラダンス（ボランティアさん）の披露もあり、楽しい一時を過ごすことができました。みなさん、ご協力ありがとうございました。

九月の壁画

今月の壁画は「夕焼けこやけ」の歌に合わせて作っていただきました。

「夕焼けこやけ」は帰りの会の歌として、9月から歌っております。歌を歌いながらカラスの声や鐘の音を担当者が出して、お月様、小鳥、お星様には手振りを交えます。



オブジェにも、歌の中に出てくる「お月様」「夕焼け」「鐘」「子供たち」などが表現されています。時には利用者さんにも「ここにこうしたら？」とアイデアを出していただきながら、とても素晴らしき作品が出来上がって参ります。

また、9月には「お月見茶会」としてお茶会を開催しました。初めて参加される方もいらっしゃいましたが、「とてもよかった」との感想をお寄せいただきました。



十月の行事

- ・運動会
- ・五感を使って歩こう
- ・みんなで一緒に唄おう
- ・通所参観日（体験日）



もし自分が認知症と診断されたら

- ・医師と相談の上、治療方針を確認する。
- ・医師の説明は、なるべく家族全員に聞いてもらい、情報を共有できるようにする。
- ・絶望感、孤立感、恐怖感、不安感などを、家族や友人など親しい人に素直に話し、病気を受け入れて、病気と共に生きる心構えが持てるように、必要に応じた支援を頼んでおく。
- ・同じ病気を持つ人との交流会へ参加を検討する。
- ・人によっては、信仰心に安定を求める。
- ・家族と生活全般について話し合い、生活の質が保てるようにしておく。（生きて、何をしたいのか、自身の希望、医療・介護サービスや諸制度の利用、資産の管理、費用のやりくり・・・）
- ・身近な人の援助が受けにくい場合は、成年後見人制度や地域福祉権利擁護事業の利用を検討する。
- ・延命治療の可否など、生前の意思表示、尊厳死の選択、葬儀や埋葬、遺産相続などに関する遺書の作成などを検討する。

今回は最終回です。「心配のない物忘れとちょっと心配な物忘れ」についてです。

NPO法人ほっとあいからのご案内

「ほっとする・あったかい・助け合い・愛」

特定非営利活動法人ほっとあいは、平成10年の設立時より「住み慣れた地域で暮らしたい」と願う人々の思いに寄り添いながら活動を続けてまいりました。

その時々様々なニーズに対応するために多様なサービスを展開しています。

みなさまのまわりで、ほっとあいを必要とされる方がいらっしゃいましたら、担当の者までお声がけ下さい。

各事業の担当者がご相談を承ります。 ☎0224-52-8555

自主事業(住民参加型在宅福祉サービス)

- ・ファミリーサポートホームヘルプサービス
- ・外出支援・移動サービス
- ・ほっとあいの家(デイケア・ナイトケア)
- ・おしゃべりサロンほっとあい(毎週土曜日)

介護保険事業

- ・居宅介護支援・訪問介護・通所介護

障害者自立支援法

- ・ホームヘルプサービス

行政委託事業

- ・軽度生活支援・障害者等移動支援
- ・障害者等一時預かり